

—— おおたけ ——

市議会だより

OTAKE CITY

No.171

2012
(平成24年)

11



阿多田小学校



本町保育所

大竹中央幼稚園



玖波小学校

**最終ページに
アンケートがあります。
ご協力下さい。**

◆第3回市議会（定例会）	2ページ
◆一般質問	4ページ
◆審議結果表・議会日誌	8ページ
◆請願/陳情・あとがき	9ページ
◆アンケート	10ページ

平成24年
第3回市議会（定例会）
会期9月4日～14日

会期中に、条例案6件（原案可決）、補正予算案3件（原案可決）、人事同意案1件（原案同意）、報告2件、処分案等3件（原案可決、認定）、その他2件、請願・陳情4件（継続審査3件・採択1件）の議案審議等を行いました。

総務文教委員会に

付託された議案

●大竹市防災会議条例及び大竹市災害対策本部条例の一部改正について

Q 防災会議委員の定員を20名から25名にした理由を問う。

A 災害対策基本法の改正に伴い、委員に自主防災組織を構成する者又は学識経験のある者を新たに加えることとなった。現在、委員の実員が20名である。これを25名以内とし柔軟に対応できるようにした。

生活環境委員会に

付託された議案

●平成23年度大竹市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

●平成23年度大竹市公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

●平成23年度大竹市工業用水道事業会計決算の認定について

Q 下水道長寿命化計画の策定に必要な調査、診断結果について問う。

A 老朽化しており、来年度から長寿命化計画に基づき取り組む。小島汚水中継ポンプ場、処理場内汚泥処理棟の一部改築を予定している。

Q 工業用水道についても上下水道と同様に将来計画を策定しているか問う。

A 現在、長寿命化計画等は策定していない。今後工業用水道全体の経営状況を見ながらプランを策定していくようになる。

Q 実際の震災時には、更衣室や授乳の場所など、女性に係る問題が多いと聞く。防災会議委員には女性の登用をぜひ図っていただきたい。現在、女性の委員は何名いるのか問う。

A 現在の委員のうち女性は1名である。今後、女性の登用を図っていただきたいと考えている。

●平成24年度大竹市一般会計補正予算（第2号）について

Q JR玖波駅西口整備に係る用地買収費について、事業の背景を含め問う。

A 駅広場及び駅舎建築部の用地買収についてJRとの協議の結果、支障物件の補償額が提示され、用地買収の契約ができる見込みとなった。これに必要な額が5,100万円余であり、前年度繰越額を引いた不足額610万円について補正をお願いし、事業推進を図るものである。事業計画としては、駅広場整備、駅舎の整備、接続道路（玖波36号線）のそれぞれの用地買収・設計・工事に必要な額として、現時点で約3億3千万円を見込んでいます。

●大竹市営住宅等の指定管理者の指定について

Q 市営住宅アパートは現在年1回の入居であるが、指定管理者移行で、入居の機会が増えるのか問う。

A 今回、業者からの提案事項で入居の回数を複数回にしているかどうかとの申し出があった。今後の協議事項となる。

Q 管理戸数873戸に対して、以前の説明では戸数を6百戸程度に減らすと聞いている。指定管理費との整合性、また平屋建て解体後の戸数減、跡地管理を問う。

A 住宅ストック計画で640戸に減少させていくとしている。解体した場合、管理費は割合に応じて減額する。この管理費には跡地管理も含まれており、必要な場合、点検、除草を実施する。

その他付託された議案

●平成24年度大竹市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
●平成24年度大竹市介護保険特別会計補正予算（第1号）

駅舎部分及び接続道路の用地買収は平成25年度に、工事は全て26年度に予定している。

Q 給食配送業務の委託先、配送中の車の故障や事故が起こった場合の対応などについて問う。

A 業者の選定に関しては、選考委員会でも募集要項等を協議し、9月中には募集を開始したい。また、配送車が故障等の場合は、代替の車などを委託業者で対応していただくことを考えている。

Q 福祉避難所の整備について問う。



●大竹市営住宅管理条例及び大竹市特定公共賃貸住宅管理条例の一部改正について

●大竹市小型合併処理浄化槽設置資金貸付条例の一部改正について
●大竹市水洗便所改造資金貸付条例の一部改正について

※採決の結果、原案のとおり可決



●大竹市営住宅等の指定管理者の指定について

【反対討論】

○「住宅セーフティネットを行政から民間へ分離するものであり、入居者個人の諸問題に対応する体制が現在確保されていない。サービス向上・経済効果も疑われる委託だ。」

○「今まで市から仕事をしていた地元業者は、今後広島市の業者から受注することになる。市から離れた組織に管理を依頼するのでなく地元業者主導で考えてもらいたい。」

A 災害時における要援護者の支援対策の一環として、一般の避難所では避難生活ができない障がい者や高齢者を優先的に受け入れる福祉避難所を整備するものである。この度は、「特別養護老人ホームゆうあいホーム」を指定し、リクライニング式車いすやプライバシー保護用のパーテーション、吸引機等の諸備品や、介護用品・衛生用品等の消耗品を整備して、いざというときに対応していただくこととしている。

その他付託された議案

●大竹市火災予防条例の一部改正について
●大竹市立学校設置条例の一部改正について

※採決の結果、原案のとおり可決



本会議での採決の結果
原案のとおり可決

【賛成討論】

○「数多くの公営住宅の管理実績がある民間へ委託することにより、民間ノウハウを活用してサービス向上が期待できる。」

○「基本協定を締結する上で、プライバシー保護、事務手続きでの公平性・公開性、サービス向上、効率化などを保証されるよう規定上に盛り込んでいただく意見を述べて賛成。」



本会議での採決の結果
原案のとおり可決

一般質問

9月定例会では、7人の議員が一般質問を行いました。詳細については、12月上旬に本会議録が製本されますので、市のホームページ、市役所情報公開コーナー、または、図書館でご覧ください。

質問者 山本 孝三

危険視されるオスプレイの
飛行訓練について

基地周辺の安心・安全のため、
十分配慮いただくよう要望します

○ 岩国基地へのオスプレイ配備・試験飛行について、防衛省からの説明、そして、市長としての対応を伺います。危険な訓練による市民の不安払拭にどう対処されますか。

基地交付金をもらっているからと、なし崩し的に市民が危険にさらされてはなりません。

○ 中国四国防衛局より適宜、情報提供を頂く中で、基地周辺の安心・安全の確保のために十分な配慮を頂くよう要望してきました。

国防は国の専管事項ですが、市民の皆さんのお気持ちについては、今後もしっかり国に伝える役割を果たしたいと考えています。

第5期介護保険事業の

取り組みについて伺う

小規模特別養護老人ホームの
設置などに取り組んでいます

○ この4月から介護保険料が21.7%値上げされ、値上げの理由は、

特別養護老人ホーム(29床)・ショートステイの増設、また、24時間体制の介護・看護サービスをしていくためだと言われました。保険料は先取り、サービスは無しなのでしょうか。今後の取り組みを伺います。

○ 入所定員29人以下の「小規模特別養護老人ホーム」事業者公募の結果、複数の応募がありましたので、審査を行い、9月中旬を目途に、最適な運営法人を決定します。

24時間対応サービスは、事業者公募の結果、応募者がありませんでしたが、今後も整備に努めていきます。



のちにプロポーザル方式により決定された
特別養護老人ホーム建設予定地(後飯谷)

その他の質問

●定住促進事業の実績・評価について

質問者 細川 雅子

おおたけ手すき和紙に
更なる行政支援の必要性は？

関係者と協議をしています

○ 「手すき和紙の里」は、県内数少ない体験型の施設です。現在では「おおたけ手すき和紙保存会」の皆様によって技術の伝承がされています。手すき和紙の今後のあり方と支援について市の考えを問います。



大竹伝統の手すき和紙を体験

○ おおたけ手すき和紙に関わっている、おおたけ手すき和紙保存会や大竹駅前商店街振興組合の方々と観光やまちづくりの資源として、どの

ようにすれば有効活用できるのか協議する場を設け、市としての支援策を探っていきたいと思っています。

国民健康保険レセプトのデータ
ベース化に取り組まいませんか？

今後もし先進事例に学ぶ姿勢を
持ち、取り組んでいきます

○ 呉市では、全国に先駆けてレセプトのデータベース化によるきめ細かな保健指導を行い、医療費の適正化に効果を上げていると聞きました。本市も同様に取り組まれてはいかがでしょうか。本市の状況と合わせてお尋ねします。

○ レセプト点検では、医療機関が作成する診療報酬明細書を全件点検し、診療報酬支払いの適正化を図っています。例年、1千万円程度の効果を上げています。そのほかにも、「ジェネリック医薬品お願いカード」の配布やイベント会場等で健康づくりに関する啓発を実施することで、医療費の適正化を図っているところ。また、本年度から大竹市医師会と共同で糖尿病対策に取り組んでいます。

今後もし先進事例に学ぶ姿勢を持ち、適正化に取り組んでいきます。

質問者 寺岡 公章

市役所や公共施設が
もっと明るくなりませんか

費用面を考慮しながら工夫して
できることに取り組みます

○ 本市の庁舎や出先機関、公共施設には、一部を除いて暗い廊下、閉ざされた執務室というイメージがあります。

節電の取り組みもあるのですが、構造上、来客者を認知しにくいために先に声掛けできない部署もあり、本市行政のマイナスイメージにつながる要素の一つになっていると考えています。

主には照度や挨拶という視点から、来庁者、施設利用者が気分よく訪れ、職員さんが気持ちよく仕事のできる環境づくりについて、まず廊下と執務室の間にある壁やパーテーションを取り払うなどの工夫を提案しますが、いかが考えでしょうか。

○ 節電の取り組みにはご理解いただきたいところですが、市民が訪れやすい開かれた職場づくりも重要です。本庁舎については、明るい雰囲気、正面玄関から入りやすいよう、駐車場及び駐輪場を整備したほか、市民課の受付カウンターを試験的に



本庁内での開放的雰囲気のある2階の様子

質問者 田中 実穂

歯科口腔保健の
推進のための取り組みは

予防的観点で定期的な
受診を進めることが重要です

問 昨年歯科口腔保健の推進に関する法律が制定されました。歯科疾患の予防に向けて国や地方公共団体、歯科医師会そして国民にも責務を課し、早期発見治療を推進するものです。小・中学校の検診や寝たきり高齢者への訪問歯科診療事業がありますが、一般社会人には何もありません。法律に基づいた社会人への市の取り組みについて伺います。



答 成人に対する事業は、国保被保険者を対象とした歯科健康診断事業や、市広報を通じての啓発を行っています。また、将来介護が必要となる可能性が高い二次予防対象者、介護保険法の地域支援事業として、通所型介護予防事業を行っています。

防災教育の実施を

作成中のハザードマップを
防災教育に役立てていきたい

問 東日本大震災では多くの尊い生命が失われましたが、津波の直撃に遭いながら小・中学校全員が生命を守った「釜石の奇跡」。そこには防災教育があったからです。いつか来る日のため是非実施していただきたい。

答 防災教育は地震などの災害を想定した自主防災組織との訓練の実施、また避難訓練や消火訓練などを実施しています。また、市の防災に関することなどの勉強会も実施していますが、震災の教訓を後世に伝えていくため、地震や津波を想定した訓練を実施していかなければならないと考えています。

その他の質問

●街灯や公共施設のLED
(発光ダイオード)化を

質問者 原田 博

先を見据えた工業用水道事業の
ありかたを問う

水が安定供給される
体制の維持が重要です

問 産業のまち「大竹」の発展のためにも、将来に亘り安定的に水を供給していく役割があります。

しかしながら、旧第1期工業用水道施設は、施設の竣工後約50年を経過し、今後の安定供給が懸念されます。それら施設の改築更新、耐震化には、莫大な費用がかかり、加えて、平成24年度末に終了する日量4千m³の受水契約の延長は期待ができません。

更には、工業用水道事業経費削減の限界、平成26年4月から実行されます消費税UPなど、資金繰りへの影響を含め、今後の工業用水道事業を取り巻く環境は厳しさを増しています。それには、工業用水配水能力のあり方や企業との十分な情報の共有など工業振興に向けた対応が必要です。先を見据えた取り組みを問います。

答 現在の工業用水道事業をとりまく経営環境は、社会情勢や産業構造の変化による企業の水需要の減少や



老朽化した旧第1期工業用水道施設の更新をどうするかといった課題や問題を抱えた厳しい状況です。

「工業の振興」と「公営企業の経済性」という相反する目標を達成し、企業との共生を進めていくためには、水が安定供給される体制を維持することの重要性をお互いの共通認識として持つことが大切です。

その上で、産業のまち「大竹市」の発展のため、今後も企業の発展に協力・支援するとともに、工業用水についても、企業と十分情報を共有し、双方が企業活動を継続できるように歩み寄る努力を重ねながら、適正な配水能力等のあり方も含めて、この難題を解決する突破口を見出したいと思っています。

質問者 日域 究

応札できたことが不思議です

様々な条件を総合的に判断し、
価格及び売却方法を決定しました

問 市民の財産である市有地は適正な対価で売ることが義務づけられています。東栄の埋め立てた県有地は値引きできないので県と市が多額の助成金を出して調整しました。ところが昨年末の大願寺売却では鑑定評価額7億円に対し、売却最低額である予定価格は3億3千3百万円余しかも、適正な対価なしに売られる場合の議会の承認もありません。そこで、予定価格の決定過程を示す文書を情報公開制度を使って請求したところ「不存在」との回答。いったい誰がどのように決めたのでしょうか。

また、落札額は3億5千万円でしたが、予定価格は鑑定評価額を下回らないと言う、この世界の常識がある中で、半額以下の予定価格を決め、それを公表せずに公募を行えば公正さを欠くと思いますがどうですか。

答 大願寺造成地売却に関して議員全員協議会及び生活環境委員会において次の通り執行部が説明し慎重に審議いただき議案が可決されました。

公募条件については、「価格以外の条件を含め総合的に評価するプロポーザル方式」とし予定価格は非公表としました。」と、予定価格については「地価は下落傾向にあり、事業の折り返し点である数年後の予想価格はを元に土地の販売総額を求め、その価格から、宅地開発の諸経費を差し引いた金額を予定価格としました。この考え方から現在の不動産鑑定士の鑑定価格である約7億円を元に予定価格を約3億3千万円と設定しました。」と説明させて頂いたところです。

平成 24 年 6 月 26 日付けで請求のありました行政文書の開示については、大竹市条例第 11 条第 2 項の規定により、次のとおり開示しないことと通知した。なお、この決定に不服があるときは、この決定があったことを知った日から起算して6 月 27 日までに、実施機関（大竹市長）に対して異議申立て（審査請求）をすることができず。	（実施機関） 大竹市長 入 山 欣 郎
請求のあった行政文書の内容	（大願寺山宅地分譲に関して）最低価格算出の方式を決定した経緯
対象となる行政文書の件名	不存在

質問者 大井 渉

文化振興事業団と宮島競艇職員
の身分について

最大限の努力をしていく必要が
あると考えています

問 二つの組織が、もし合併・解散などになったとき、職員の皆さんが、不安を持って業務を遂行することは、効率的にも精神的にもよくありません。この際、身分や処遇を明確にしておくべきではないでしょうか。

答 財団法人大竹市文化振興事業団の職員については、総務文教委員協議会で、市職員としての採用に門戸を開くことを説明しました。

宮島競艇施行組合が、仮に解散という事態になれば、職員の処遇については、廿日市市とよく協議をしたうえで、最大限の努力をしていく必要があるものと考えています。

地域担当職員制度を
導入しませんか

本市にとって本当に有効なもの
か研究してみたいと思います

問 第五次総合計画でも、中心的事業である「協働のまちづくり」のた



答 職員はこれまでも自分の住む地区の自治会活動やPTA活動の役員などを務め、主体的に地区の行事にも参加するよう心がけていますので、今のところ、地域担当職員制度を、急いでつくりあげる必要性は感じていませんが、本市にとって本当に有効なものかどうか研究してみたいと思います。

第3回市議会（定例会）議案の審議結果表（主な議案）

[illegible]

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。 一：議長 ○：賛成 ●：賛成でない

議
会
日
誌
・
議
会
来
訪

8月1日	生活環境委員協議会
8月20日	総務文教委員協議会
8月23日	石油基地防災対策都市 議会協議会夏季実行運 動 (東京都)
8月27日	議会改革調査会
8月28日	議会運営委員会
8月29日	広報広聴特別委員会 北秋田市議会来訪 (行政評価について)
9月4日	本会議
9月6日	総務文教委員会
9月7日	総務文教委員協議会
9月10日	生活環境委員会 岩国大竹道路対策特別 委員会
9月11日	まちづくり対策特別委員会 議会運営委員会
9月14日	安心安全対策特別委員会 本会議
9月20日	決算特別委員会 安心安全対策特別委員会
9月21日	広報広聴特別委員会 決算特別委員会
9月26日	議会改革調査会 広報広聴特別委員会
9月28日	決算特別委員会
10月2日～4日	決算特別委員会



10月10日	広報広聴特別委員会
10月12日	議員研修 (地域資源を活かした 地域活性化)
10月16日	議員全員協議会 総務文教委員協議会 広島県市議会議長会 臨時会(江田島市)
10月17日	まちづくり対策特別委員会
10月19日	宮島競艇施行組合定例会
10月24日	議会改革調査会 生活環境委員協議会 広報広聴特別委員会

請願・陳情・意見書

【生活環境委員会付託】

●B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書の提出を求める請願

採択

請願者

すべての肝炎患者の救済を求める広島
島の会
代表 堀田靖憲氏

●住民の安全・安心を支える公務・

公共サービスの体制・機能の充実に
関する意見書を求める陳情

継続審査

陳情者

築地孝弘氏 外1団体

意見書

1. 肝炎対策基本法をもとに、必要な法整備、予算化をすすめ、全患者の救済策を実施すること。
2. 肝炎治療薬、検査費用、通院費への助成をはじめ、肝炎治療費への公的支援制度を確立するとともに、肝炎対策基本法が定めた肝硬変・肝がん患者への支援策を進め、医原病のB型・C型肝炎による肝硬変、肝がん患者に広く障害者手帳が交付できるようにすること。
3. インターフェロン治療が副作用などのため受けられない方が行っている治療の自己負担を原則無料にする助成制度を創設すること。
4. B型・C型肝炎の治療体制・治療環境の整備、治療薬・治療法の開発、治験の迅速化などをはかること。
5. 肝炎ウイルスの未検査者、ウイルス陽性者の未治療者の実態を調査し、早期発見・早期治療につなげる施策を講じるとともに、ウイルス性肝炎への偏見差別の解消、薬害の根絶をはかること。
6. 「薬害肝炎救済特措法」による救済の枠組みを広げ、カルテ以外の記録、医師らの証明、患者・遺族の記憶・証言などをもとに、特定血液製剤による感染の可能性のある薬害C型肝炎患者を広く救済するとともに、同特措法の期限延長をはかること。
7. 集団予防接種が原因とされるB型肝炎患者の救済策を講ずること。
8. 医原病であるB型・C型肝炎の患者・死亡者に一時金もしくは健康管理手当などを支給する法制度を確立すること。

提出先：国会、政府

あとがき

メディア・リテラシーという言葉があります。「情報メディアを主体的に読み解いて必要な情報を引き出し、その真偽を見抜き、活用する能力のこと」です。メディアには、公的機関や雑誌、インターネット、口コミなどが含まれます。携帯電話やパソコン、マスメディアなどにより情報が氾濫する現代社会で、情報の整理や分析評価を、他の情報に頼るということに陥っていないでしょうか。

メディアを通して情報を受け取る側としては、発信された情報を受け取る際、「その情報は信頼できるか」「どのような偏りがあるか、その情報

を発信した側には、どのような意図・目的で情報を流したかなどを考え、情報を正しく利用することが肝要です。

広報広聴特別委員会では、市民の皆さんに、「市議会だより」を広く読んで頂けるようアンケートを実施します。情報を発信する側としては、公正性、透明性そして信頼性の確保に十分留意し、市議会だよりの編集に取り組む所存です。

広報広聴特別委員

乃美 晴一 児玉 朋也
網谷 芳孝 藤井 馨
北林 隆 山崎 年一
日域 究

✂(切り取り)

郵便はがき

7 3 9 - 0 6 9 0

料金受取人払郵便

大竹郵便局承認

6 3 9

差出有効期間
平成24年12月
31日まで
(切手不要)

【受取人】

大竹市小方1丁目11番1号
大竹市議会事務局 行



* おおたけ「市議会だより」アンケートのお願い *

広報広聴特別委員会では、皆様に読んでいただけるよう、8月号から紙面をリニューアルしました。さらに読みやすくするためアンケートを実施することいたします。お手数ですが、ぜひご協力をお願いします。

質 問 項 目

問1. おおたけ「市議会だより」を読んでいますか。

- ①読んでいる ②時々読んでいる ③ほとんど読んでいない ④初めて読んだ

問2. 問1で③または④に回答された方に伺います。読んでいない理由は何ですか。(複数回答可)

- ①時間がない ②議会に興味がない ③内容がわからない ④読みにくい

問3. 8月号から紙面をリニューアルしましたが、どの様に感じましたか。

- ①よくなった ②悪くなった ③よくわからない

問4. 「市議会だより」から市議会で議論された内容がどの程度ご理解いただけますか。

- ①よくわかる ②ある程度わかる ③ほとんどわからない

問5. 「市議会だより」で関心のある記事は何ですか。(複数回答可)

- ①本会議・委員会 ②一般質問 ③議決結果 ④なし ⑤その他 ()

問6. どのような記事があれば読んでみたいと思いますか。(自由記述)

問7. ご意見・ご要望を自由にお書き下さい。

回 答 方 法

◆はがきの場合

右のはがきを切り取り、切手を貼らずに投函してください

◆ファックスの場合

このページを切り取り、ハガキ欄に記入後、大竹市議会宛て(57-7110)に送ってください

◆Eメールの場合

大竹市ホームページに回答書を掲載しています。(トップページの新着情報)
gikai@city.otake.hiroshima.jp
へ送付ください。

締切 平成24年11月12日(月)

✂(切り取り)

おおたけ「市議会だより」アンケート回答用はがき
FAX:57-7110

該当する番号を○で囲んでください

問1 ① ② ③ ④

問2 ① ② ③ ④

問3 ① ② ③

問4 ① ② ③

問5 ① ② ③ ④

⑤ ()

問6 どのような記事があれば読んでみたいと思いますか

問7 ご意見ご要望をお書き下さい

●あなたの性別は ①男 ②女

●あなたの年齢は (才)

ご協力ありがとうございました